



R1年7月11日
富岡保育園
年 長 No.5

いよいよ、明日は、お泊り保育となりました。昨年、年長さん（今の1年生）がお泊り保育でシードーナツに出かける際、羨ましそうに見送った子どもたちでしたが、あれから一年、ついに自分たちの番がやってきました。

でも、いざ「お泊り保育」と言われても、実際のところ何があるのかよくわからず、「ん？保育園に泊まるの？一人で泊まれるかな？」「シードーナツ水族館は楽しみだけど・・・」と中には、不安を隠しきれない子どもたちがいます。火曜日、「はじめてのキャンプ」という絵本を読みました。なほちゃんという小さい女の子が、大きい子に交じってキャンプに行くという少し長いお話ですが、なほちゃんの表情から心の動きがよく伝わり、子どもたちも共感できる話です。ここでのキャンプは、夜テントを張って外に寝るという内容で、聴いてると「キャンプってちょっと怖い？」というイメージをもちそうだったので「みんなのキャンプは、外には寝ないよ。保育園に寝るんだよ。先生たちもいるから大丈夫！宮田農園に行って、ピザやクッキーやおにぎりを作って食べたり、水族館シードーナツにもいきます。楽しいことがいっぱいです！！」と言うと「やったー！！」とパッと顔が明るくなった子どもたちでした。

事前に頂いた調査書では、19人の内14人が「一人でお泊りしたことないがない」でした。「大丈夫かな？」と心配されているのは、お母さん、お父さん達も同じだと思います。でもこのキャンプを経験することが、子どもたちの成長に大きな意味があることを、私たちは毎年のことながら実感してきました。子どもたちが、「サマーキャンプ楽しかった！」と思えるような楽しい企画を先生方が考えて下さっていますので、どうかご安心ください。くれぐれも事故がないよう留意して、いってまいります。準備が大変かと思いますが、どうか子どもたちと一緒に、何が、どこに入っているかを確認しながら用意して下さいと、子どもたちも安心できるかと思います。よろしくお願いします。

いきとしいけるもの

三浦 明利 作詞・作曲

あめのひは、カエルやミミズがおどりでて
ピョンピョンピョン タララッタララ
たのしいみずあそび
いきとしいけるもの みんなおんなじいのち
ちがうすがたにみえてても
みんなおんなじいのち

ふんづけないように ひととはあつまりあまやどり
ルンルンルン トウルルトウルル
つどいがはじまるよ
いきとしいけるもの みんなおんなじいのち
ちがうことはなしてても
みんなおんなじいのち

あめのひは カエルもミミズもにげんも
リンリンリン パララッパララ
みんなであうたおうよ
いきとしいけるもの みんなおんなじいのち
あなたわたしにくべなく
みんなおんなじいのち
みんなともにいきる

楽しかった！ふれあい交流会

先日7月3日は、第2回ふれあい交流会でした。この日は、七夕会も計画しており、笹飾りも飾って、「おばあちゃんたちが来る！」と、子どもたちは、とても楽しみにしていました。特に年長は、ずっと練習してきたハンドベル演奏を七夕会で発表するのだと「明日は、本番だ！」と気合が入っていました。

しかし、前日から大雨洪水注意報発令「これは大変だ。おばあちゃんたちの安全を守るためには、取りやたほうがいいのか」と悩みましたが、当日館長さんからの中止の連絡はなく、結局、8時半にはおばあちゃんたちが続々と登園して下さいました。これには子どもたちも大喜びで、予定通り交流会が始まりました。

それぞれのクラスが、歌や踊りを披露し、年長さんも無事にハンドベル演奏を発表することができました。お恥ずかしいことに一番緊張したのは、指揮をした担任でした（笑）

その後、おばあちゃんたちと一緒に折り紙でお相撲さんを折り、紙相撲で盛り上がり、ホールいっぱいにおばあちゃんや子どもたちの歓声が響きわたり、楽しい時間を過ごすことができました。おかげで、おばあちゃんたちに子どもたちの元気をプレゼントすることができ、子どもたちはおばあちゃんからたくさんの優しさを頂きました。この日みんなで踊った「いきとしいけるものの」の歌をご紹介します。子どもたちも大好きな歌です。お家で一緒に歌って下さい。



朝顔が大きくなっています！

6月27日（木）は、大雨でした。朝から登園すると、朝顔が強風にあおられ可哀そうなことになっていました。このままでは、潮風にやられて枯れてしまうかもしれない、風が当たらないところに移動したいが、風が当たらないところが見つからず、どこにやりようもなくそのままにしていました。しばらくすると、バスの子どもたちが登園してきたので「どうしよう？朝顔が風で大変なことになってるよ」と言うと、「えっ？」と言って慌てて朝顔のところに走って行きました。部屋からふと見ると、4、5人の子どもたちが、何をしているのかと思ったら、強風の中自分たちだけで、せっせと植木鉢を抱え、学童の軒下に移動していたのです。「ここなら大丈夫」と思って朝顔をみんなで避難させたのでしょ。う。そんな子どもたちの姿を見て、こんなこともできるのかと思い「すごいね。皆優しいね」とうっとりとなりました。

5月20日に朝顔の種を蒔き、芽が出ては喜び、葉っぱが増えては喜びとずっと、朝顔の成長を楽しみにしてきましたが、まさか、こんなに朝顔を大事に思っているとは思ってもいませんでした。

私が、一人で植木鉢を移動したらこんな経験はなかっただろうと思うと、簡単になんでも大人がしてしまうと、子どもたちの貴重なチャンスを逃してしまうことにもなりかねないと思ったことでした。朝顔の身になって考えられること、優しい心が育っているんだと、この日何よりもうれしいビッグニュースでした。私があまりにも「みんなすごいね。やさしいね」と感心してほめるものだから、「先生、雑巾も落ちとるよ」と言って風で跳んだ雑巾を拾って綺麗に雑巾がけに干してくれ、またまた「ありがとう！」と言われると、他には何かないかなとキョロキョロ探す子どもたちでした。（笑）

